

くるみん・ユースエールの合同認定通知書交付式を開催しました！

平成28年8月4日、群馬労働局では、次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定)企業として、[社会福祉法人桔梗会](#)、また若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定企業」として、[株式会社中沢工業所](#)の、認定企業2社に対する認定通知書交付式を、合同で開催しました。



前列左から、社会福祉法人桔梗会 理事長 宮下 桂一様、群馬労働局長 半田 和彦、株式会社中沢工業所 代表取締役 中澤 志光様

くるみん認定は、子育て支援に関する「一般事業主行動計画」の策定及び目標の達成、女性の育児休業取得率が75%以上、男性の育児休業等取得者がいること等の基準を満たした企業を受けることができます。

[社会福祉法人桔梗会](#)では、計画期間の育児休業取得率は男女ともに100%(男女とも、対象者4名中、4名が育児休業を取得)でした。



ユースエール認定企業の認定を受けるためには、人材育成方針及び教育訓練計画の策定、直近3事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の定着状況、正社員の所定外労働時間の実績、正社員の有給休暇の取得実績、男女労働者の育児休業等の取得実績など、各種要件をクリアした優良な中小企業である必要があります。[株式会社中沢工業所](#)では、新卒者等の離職率0%、週労働時間60時間以上の労働者の割合0%、有給休暇の年平均取得日数は13.1日でした。

半田 群馬労働局長からの挨拶



本日は、くるみん・ユースエールの合同認定通知書
交付式ということでお集まりいただいている。

折しも昨日内閣改造が行われ、今後内閣の目玉として「働き方改革」を実施していくということが言われている。

「働き方改革」の中身としては長時間労働の抑制、女性が活躍する社会を構築するための下準備、それとともに誰もが働きやすい社会を作るというものである。

現在群馬県の人口は200万人を切る状況である。残念ながら少子高齢化が急速に進んでいる状況であるが、そのような中で生計を主とする「働く」ということについて、色々な改善を心がけていかないと、なかなか人が育っていかない、人が集まって来ない状況になっていくと考えられる。

厚生労働省や当局でも様々な施策の取り組みを行い、対策を練っているところである。

特にこれから認定書を交付させていただく「くるみん」については男女ともに働きやすい職場環境を実施している企業に対して認定を行うものである。

今現在、全国で2,500社超の企業がくるみん認定を受けている状況である。

本日ご出席の「社会福祉法人桔梗会」については、平成25年に1回目のくるみん認定を受けており、今回が2回目の認定である。2回目の認定というのは、それぞれの行動計画期間において、全ての目標を達成したということであり、大変喜ばしいものである。特

に桔梗会については、男性の育児休業率が100%と非常に輝かしい内容であり、それとともに超過勤務の減少、年次有給休暇の取得の改善に成果を上げている。今後とも働く皆さんのために、このような施策の継続をお願いしたい。

次にユースエールであるが、このユースエール制度についてはまだ浸透していない状況であり、昨年10月から新たに厚生労働省が認定を開始したものである。

ユース（若者）に対してエールを送る企業に対しての認定であり、全国でいまだ50社ほどである。群馬県内では2社目であるが、同一県内で複数社が認定を受けている県はほとんど無い。

今後ともユースエールという若者を応援する企業の認定を増やしていきたいと考えているが、認定に至るまでに細かい基準があり、人材育成を主としていかなければいけない認定であり、認定基準をクリアするのに高いハードルがある。しかし、逆に言えば認定を受けた会社に入ると豊富な人生経験ができるということである。



今回の「株式会社中沢工業所」においては、採用段階からベテランに至るまで素晴らしい中身の濃い研修計画を行っている企業である。そこで働く皆さんが挫折や離職をせず働く輝かしい実績を持つ企業であることが今回の認定につながっている。今後とも若者あるいは物作りの現場を大事にする社風を作り続けてもらいたい。

本日ご案内の2社については群馬県を代表する企業である。今後当局としても、色々な面での活躍の場においてエールを送りたい。

社会福祉法人 桔梗会



(理事長 宮下桂一 氏からのコメント)

平成22年より施設長を中心として「働きやすい職場づくり」に取り組んできた。

6年を経過した現在、男性の育児休業が職場内で気軽に取得できる雰囲気になってきた。

当初は男性が育児休業を取得するということが雰囲気的に難しい状況であった。

労働環境が良くないというイメージで、人材が集まりにくい中、施設長を中心として、できるだけ労働環境を改善し定着率を上げていこうという取組を実施してきた。

おかげさまでこのような形で認定を頂けたことを感謝しており、これからも職員が一丸となり「働きやすい職場づくり」を行っていきたいと考えている。



株式会社中沢工業所



(代表取締役 中澤志光 氏からのコメント)

ユースエール認定を受けるためには色々な厳しい条件がある。

私どもとしては、これからもこの認定条件を継続していけるようますます努力をしていかなければいけないと考えている。

当社は「もの作り」の会社であり、自動車、医療機器等の金属部分の製造、加工を主な業務内容としている。職場環境の改善、技術力の向上等いろいろな課題がある中、その中でも若者の採用が難しい状況にある。職場環境や、長時間での同じ作業というものが若い人には難しいことから、なるべく働きやすい職場、技術を覚えられるような体制作りを心掛け大勢の若い人に入社してもらえるような会社作りをしていきたい。



また、若い人だけでなく熟練の社員であっても「もの作り」に無理があると不良品が出来てしまうことから、無理のないもの作りのため、色々な技術を学び改善を進めて良い製品をお客様に届けられるような対策を講じている。

このような活動が今回の認定につながっており、本当にうれしく感じている。これを機会に新規に若い人が多く入社し、より一層技術力の向上に向けて活性化できればと考えている。